

我等は我國の全緊要團體の踴躍たる結末と協力とに對して指擧する誠意と最善の努力を致すことを斷言する。然して其理相的實現に對ては、最も適當なる時期と方法とを擇むべきは勿論である。最近我國の外交上最も重大問題として社命の祖國を侮めた長春命案が遂に決裂の不幸を見るに至つたこと、は我等の最も遺憾とする所である。決裂の責任が何れにあるか、は別として、兎に角我政府が依然として善本主義的外交に毒せられて東西の少和と福利とを確立するに對し、甚だ不誠意たる態度を固執しつゝあること、は明かである。我等は從來懸望し來つた勞農ロシアの承認、シベリア即時無條件撤兵、對露通商開始を飽く迄主張する、これ我等が日露兩國並に東亞の平和とを切望するが故である。我等は今回の長春命案は失敗したけれ、世出來る丈け、近き將來に於て再び日露兩國の命案が開催されて、以て政治上並に經濟上兩國の福利に貢獻せんことを期待する。